能登の魅力を広めよう ～能登の魅力はいかが？～

団体名●のとプロ（石川ゼミ）／代表者名●藤沢美菜子（経済学部経済学科４年）

はじめに（背景・目的・目標）

私たちのとプロは、能登の魅力を広めたいという熱い気持ちを持った1人の学生に賛同して発足した団体である。本団体は2023年に立ち上げ、初年度は、過疎化や担い手不足などの課題を抱えている能登地域において、能登の魅力を理解し、さらに発信することで、能登地域に関心を持ってもらいたいというメンバー全員の意思から活動を行うに至った。しかし、2024年の元日に能登半島地震が発生し、2024年度は能登地域の復興を目的として、金沢市内を中心に能登地域を応援する活動を実施した。なお、NPO 法人「チーム能登喰いしん坊」の協力を得ながら活動している。

活動内容

2024年6月8日と9日に、本学で開催された「のと応援祭」にて、子ども向けのゲームを出店した。その景品として、「チーム能登喰いしん坊」が EC サイトで販売しているジビエのレトルトカレー、能登塩ポテトチップス、能登塩サイダー飴を仕入れた。

写真1：のと応援祭りの様子

また、2023年から協力していただいている「狩女の会」で活動されているジビエ富士子さんが出店しているキッチンカーのお手伝いに加えて、金沢駅や、金沢市近郊で開催されている能登応援ブースでの販売補助を行った。

写真2：販売補助の様子

お手伝いをする中で、能登で作られている商品の種類が多くあり、一つ一つの商品に思いがあることを知り、心が暖かくなった。そして、ブースにいらっしゃるお客様も能登を応援したいという思いがある方たちばかりで、今私たちが能登地域のために出来ることを考えさせられた。

そして、2024年12月14日（土）には、穴水町にあるさわやか交流館プルートにて、園児から中学生までを対象としたクリスマスイベントを開催した。イベントでは、スノードーム作り、クリスマスケーキ作り、ゲーム、ビンゴ大会を実施した。クリスマスケーキ作りは、大きなスポンジケーキに参加者全員で飾り付けをすることに加え、1人1つのカップケーキにも自分の好きなトッピングで飾り付けできる内容とした。使用した大きなスポンジケーキは、穴水町にある「お菓子工房 Hanon」さんにご協力いただいた。

写真3：クリスマスイベントの様子

成果、結果の考察

2024年6月に開催されたのと応援祭の準備では、メンバーが自主的に大学に残り、看板や備品等の出店に必要な準備物の作成に励み、そこで昨年よりチームの一体感が生まれ、一層組織としての絆が深まった。

「チーム能登喰いしん坊」やジビエ富士子さんの販売補助のお手伝いでは、来場者との対話を通して能登の魅力を双方に深められた。

今後の課題、展望

まず、今後の課題は、魅力発信のための SNS での広報活動を積極的に行い、若者への周知を図ることが挙げられる。

次に今後の展望としては、能登地域外でのイベントの開催を実施し、より多くの人々に能登の関心を持ってもらうことを目指したい。

資料1：のとプロ活動歴

年月	主な活動イベント（活動人数）
2023年5月	のとプロ結成（9名）
2023年6月	NPO法人能登喰いしん坊との連携
2023年7月	のと里山空港20周年記念（3名）
	長谷部まつり（9名）
2023年8月	カフェローエル（9名）
2023年10月	あなまるマーケット（9名）
2024年1月	白山道の駅で能登半島地震の募金活動（9名）
2024年4月	金沢駅で能登物産展（2名）
2024年7月	野々市じょんからまつり（1名）
2024年8月	復興の灯（4名）
	わたす日本橋（2名）
	のと里山展（5名）
2024年9月	音楽堂マルシェ（1名）
	BEER ME ISHIKAWA（2名）
	わんダフルフェス（2名）
2024年11月	桜クリエ（1名）
2024年12月	穴水クリスマスイベント（12名）